

秦野市主催・受講料無料

MEMBER OF



WHO Global Network
for Age-friendly Cities
and Communities

秦野市は「みんなにやさしいまち」エイジフレンドリーシティを推進しています。

令和8年度 地域支え合い型

認定ドライバー養成研修

～買い物や通院など外出にお困りの方の移送ドライバーとして活躍してみませんか？～

研修内容 研修カリキュラムは裏面を御覧ください。

- ・福祉有償運送のドライバー資格を得られる国土交通大臣認定講習
法律や制度の講義、福祉車両の操作、路上実習など
- ・地域の買物やサロンの送迎などを考えている自治会や有志団体の支援
保険やマニュアル作成等の相談もできます。

研修日程 全3日間のコースです。3日間修了すると、修了証が交付されます。

日程	前期:6月25日(木)、6月28日(日)、7月3日(金)
	後期:11月5日(木)、11月8日(日)、11月12日(木)
時間	午前10時～午後4時(昼休憩1時間あり) ※各自、昼食をご用意ください。
場所	前期:秦野市保健福祉センター 3階 第4会議室(秦野市緑町16番3号)
	後期:秦野市役所本庁舎 3階 講堂(秦野市桜町1丁目3番2号)
費用	無料(一般の講習では1万円程度かかります。)
対象	市内在住・在勤の方(各回24名)
持ち物	筆記用具、運転免許証、昼食

申込方法 5月15日(金)から受付開始します。電話又はFAX(裏面)でお申込みください。

申込先	秦野市役所高齢介護課地域包括ケア担当	
電話	0463(82)5617 ※ 受付時間:午前9時～午後5時	
FAX	0463(84)0137	
申込期限	前期:6月19日(金)まで	※ 定員になり次第、締め切らせていただきます。
	後期:10月26日(月)まで	

参加者の声



車いすや福祉車両の乗車
体験により、介護される側
の気持ちがわかった！

研修後の活動例

- ・ボランティアで近所や地域の外出が困難な方の送迎を行う
- ・介護事業所等でドライバーとして働く



例:高齢者の送迎ボランティア
(とちくぼ買い物クラブ)

FAX送信票

秦野市高齢介護課地域包括ケア担当 行

FAX:0463-84-0137

地域支え合い型認定ドライバー養成研修 参加申込書

「秦野市地域支え合い型認定ドライバー養成研修」に参加します。

住所：	希望コースを○で囲んでください。 ※ どちらも内容は同じです。 日程は表面を御覧ください。 前期：6月～7月 後期：11月
ふりがな	
参加者名：	
電話番号：	
生年月日： S・H 年 月 日	

主なカリキュラム （カリキュラムの順番は入れ替わる場合があります。）

講義名		内容
1日目	研修の趣旨説明	公共交通機関がない又は不便な地域で、障がいや介護度がなくても、外出にお困りの方がいます。制度だけでは埋まらないニーズに対して、地域支え合い活動として無償の移動支援活動が注目されています。
	移動サービス概論	移動サービスの運転に必要な知識と心構え、道路運送法について学びます。
	福祉的な視点を持った運転とその心構え	外出支援活動の対象の多くは高齢者や障がいのある方で、利用者の視点に立った介助や、やさしい運転が求められます。利用者理解と実践での対応を具体的に学びます。
	活動におけるリスクマネジメント	地域活動に参加するとき、リスク回避のための備えは不可欠。活動にかかる保険などについて学習します。
2日目	接遇介助の基本	どのようなサービスが求められているか、歩行時の介助、車両乗降時の介助、福祉車両乗降時の注意点などを学びます。
	運転実習	実際に車両を運転します。
	実技実習	車いすの扱い方、高齢者の移乗介助、歩行介助などを実習します。
3日目	市の交通対策について	不採算バス路線の廃止等で公共交通機関がない又は不便となっている地域で市が取り組んでいる持続可能な公共交通対策を紹介します。
	さまざまな地域活動の紹介	地域で支え合う共助・互助による送迎、NPOなどが行う制度に基づく福祉有償運送、介護保険のデイサービスなどの施設送迎。住民がつくってきた事例を通じて、地域で求められるサービスを考えます。
	グループワーク	どういう活動にする？クルマはどうする？保険って入るの？など、活動に必要な手続きを模擬体験、グループワークで楽しみながら学びます。
	修了式	